

このおみやげは  
旅行鞆には  
入らないけど

旅に出るのに、持っていくものは、できるだけ少ないほうがいい。

荷物が軽ければ、どこへいくにも気が楽だし、

手元になくて本当に困るものは、そうは多くない。

心にも、おんなじように、たくさん詰めこまないほうがいい。

心配とか不安とか、昨日の悩みなんかは、

持っていてもどうにかなるものでもないから、

荷物が少なければ、心に余裕があれば、そのぶんだけ、

多くのものを持ち帰ることができる、とこの町が教えてくれた。

たとえばどこまでも続く緑の田んぼとか、

びしりと整列する、うつくしい瓦屋根とか。

作家  
関田光介

ストーリーのあるまち

香美町

「余部橋梁下に広がる黒瓦の町並み」

